

としよかん だより

長崎市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1

TEL 095-829-4946 FAX 095-829-4948

ホームページ <https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>



ホームページスマホ版

2023.7 No.185

Topic

■ 飲食可能スペースができました！

図書館2階の屋上庭園とギャラリー(屋内)に、新しくテーブルとベンチを設置し、飲食ができるようになりました。

1階正面入口横のベンチ(屋外)でも飲食可能です。

ぜひご利用ください。

※ごみ箱は設置していません。

※飲酒・喫煙はできません。



2階ギャラリー



2階屋上庭園

Information

図書展示

1階特集展示 外活！(～7/30)

2階特集展示 平和を考える(～7/30)

YA特集展示 読書感想文におすすめの本

YA投稿展示 部活あるある募集

児童特集展示 調べる学習にちょうせん！

児童ミニ展示 ドキドキ！ぞくぞく！おばけ・妖怪のはなし

児童特別展示 長崎歴史文化博物館『隙あらば猫 町田尚子絵本原画展』連動展示



イベント

長崎県よろず支援拠点×長崎市立図書館 ビジネスセミナー

無 料

要 申 込

「知っておきたい！クラウドワーカーのためのトラブル防止術」

気軽に始められる一方、思わぬトラブルに巻き込まれることもあるクラウドワーキング。

基本的な法律知識やトラブル防止についてグループワークをしながら学びませんか？

7月20日(木) 13:00～14:30 (12:30開場)

場所：多目的ホール

定員：20名

講師：谷直樹氏

長崎県よろず支援拠点コーディネーター、
長崎国際法律事務所代表、弁護士(長崎県弁護士会所属)

申込方法：メール

宛 先：kikaku@lib.city.nagasaki.nagasaki.jp

件 名：クラウドワーカー

本 文：「氏名」「電話番号」

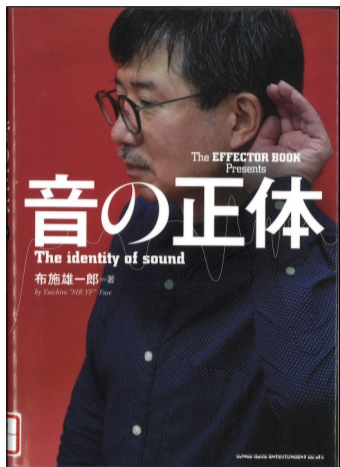
開館状況やイベントの詳細・開催状況は、図書館のホームページ・SNS・館内ポスターをご確認ください。

音は時に音楽として私たちの心を感動で震わせる。

過ぎ去りし日々の記憶を呼び起こすきっかけになることもある。

そして、音に影響を受ける人がいる一方、音のない世界で暮らす人もいる。

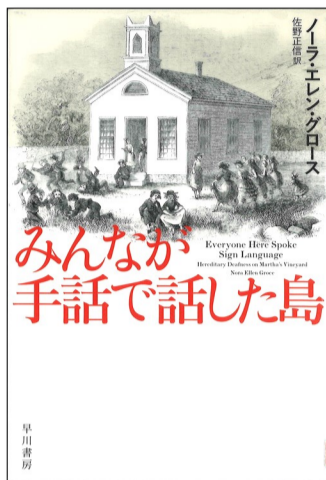
あなたにとって「音」とはどんな存在ですか？



音の正体

布施 雄一郎/著
シンコーミュージック・エンタテイメント
2022年刊
ラベル:761.1フ(2階フロア)

音を捉える耳、音色、音圧、音程、音響など多彩な切り口で「音の正体」に迫る。11年にわたる季刊雑誌での連載をもとに、豊富なイラストや写真、グラフを使って、音の聴こえ方・伝わり方などを解説。



みんなが手話で話した島

ノーラ・エレン・グロス/著
佐野 正信/訳
早川書房
2022年刊
ラベル:B369.2グ(1階文庫)

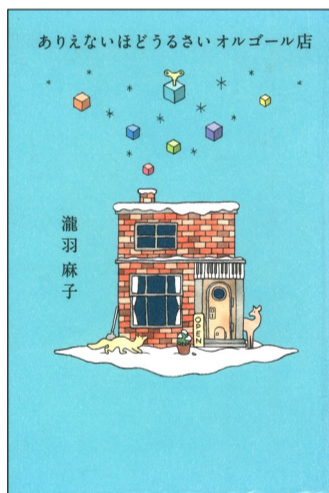
かつて聴覚が不自由な人の出生率が高く、誰もが手話で話していた島があった。人々は幼い頃から手話を身につけ、聞こえる人も聞こえない人も同じように生活していた。島の歴史や家系、言語、そこに暮らしていた人々の声を記録した、綿密な調査に基づくノンフィクション。



サウンドパワー

わたしたちは、いつのまにか「音」に誘導されている!?
ミテイラー 千穂/著
ディスカヴァー・トゥエンティワン
2019年刊
ラベル:141.2ミ(2階フロア)

私たちの生活と密接な関係にある「音」。ビジネス、健康、教育……、さまざまな分野における「音の力」＝「サウンドパワー」の活用方法について、アメリカの名門ジュリアード音楽院を卒業した著者がわかりやすく解説する。



ありえないほどうるさいオルゴール店

瀧羽 麻子/著
幻冬舎
2018年刊
ラベル:F913.6タキ(1階日本現代)

訪れた人の心に流れる音楽を聴き取り、オルゴールに仕立ててくれる不思議な店を舞台にした短編集。聴覚障害を持つ息子の母親、解散したバンドの仲間たちなど、悩みを抱えた登場人物に、謎めいた店主はどのようなオルゴールを作るのか。音楽によって人生の大切な瞬間が描き出される。



ちんどん屋の響き

音が生み出す空間と社会的つながり
阿部 万里江/著
輪島 裕介/訳
世界思想社
2023年刊
ラベル:J674.8ア(2階ビジネス)

派手な装いで、鉦（かね）太鼓と管楽器をにぎやかに響かせるちんどん屋は、路上の巡回広告業者である。音を通じて、社会的つながりを作り出すちんどん屋の歴史と実践を捉えた研究書。



音楽に自然を聴く

小沼 純一/著
平凡社
2016年刊
ラベル:760.4コ(2階フロア)

昆虫や植物、乗り物などの音は、楽器や声でどのように表されてきたのか。歌舞伎の音や音楽作品などをあげて紹介する。さらに、呼吸と楽器の関係や、音を聞く・聴くという表現について著者の考えを述べる。